２９．研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：030165015

病院施設番号：030165　臨床研修病院の名称：総合病院国保旭中央病院

臨床研修病院群番号：　臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

１．研修プログラムの名称	総合病院国保旭中央病院総合プログラム
２．研修プログラムの特色	プライマリーケアに対処できる一般医、専門医を目指す医師のためのプログラムである。ローテートする科は、必修科に加えて将来専攻したい科を考慮して決定する。スーパーローテート方式にて広い基本的医療技術や知識を習得しつつ、医師としての基本的態度を学び全人医療を体得し、患者中心の医療の実践を目指す。本コース修了後は、専門研修プログラムを各科で継続し、専門学会の認定医、専門医などの受験資格を得ることも可能。
３．臨床研修の目標の概要	患者さんに対し家族のような愛情をもって接し、常に幅広い知識と技術の習得に励み、他のスタッフと協調しつつ医療を実践できるような医師を目標に研修を行う。
４．研修期間	（　２）年　（原則として、「２年」と記入してください。）
備考	研修後そのまま専門研修に入り３年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。

５．臨床研修を行う分野

研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）

＊　同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。

＊　研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。

＊　選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。

		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
（記入例）　ｘｘ科		1234567	○○　病院	36 週	○週
必修科目・分野	内科	030165	総合病院国保旭中央病院	36 週	1 週
	救急部門	030165	総合病院国保旭中央病院	8 週	
	地域医療	116513	東庄病院 附属飯岡診療所 名瀬徳洲会病院 鴨川国保病院	4 週	一般外来　4 週 在宅診療　1 週
	外科	030165	総合病院国保旭中央病院	8 週	週
	小児科	030165	総合病院国保旭中央病院	4 週	3～4 日程度
	産婦人科	030165	総合病院国保旭中央病院	4 週	
	精神科	030165	総合病院国保旭中央病院	4 週	
	一般外来	030165	総合病院国保旭中央病院	0 週	
病院で定めた必修科目	麻酔科	030165	総合病院国保旭中央病院	8 週	週
					週
					週
					週
選択科目		030165	総合病院国保旭中央病院	28 週	週
					週

備考

(1)内科

内科は、消化器内科、循環器内科、内科総合病棟（総合診療内科、神経内科、内分泌・代謝、老人内科、呼吸器、腎・透析)、アレルギー・膠原病内科、血液内科の 5 つの部門にわかれており、各部門を 2 ヶ月単位（内科総合病棟は 3 ヶ月単位）でローテートすることが原則。ただし、1.5 ヶ月ずつ 2 病棟を 3 ヶ月単位でローテートすることも可能となっている。内科総合病棟は 6 ヶ月を必修とし、1 年次に 3 ヶ月、2 年次に 3 ヶ月ローテートする。救急外来を行う上で多くの科をローテートすることを推奨している。内科各科では、受け持ち医として、患者を直接担当する。一年次は 5 名前後、二年次は 10 名前後を受け持つ。上級医と指導医とともにチームを組み、診療にあたる。救命救急センターや他科からのコンサルトに対して、コンサルトチーム（待機）のファースト（コンサルトを最初に受ける役目）として指導医とともに初期診療にあたる。各科の事情によるが、4 から 5 日に 1 回程度、コンサルトチーム（待機）に入る。

（２）外科

一般外科

入院患者の診療を主とし、患者を担当し、術前・術中・術後の管理、輸液・輸血・呼吸器装着管理、気管切開、静脈切開等の必須の知識と実技に熟達する。同時に初歩的手術の介助を行う。

脳神経外科

一年次では、上級医の助手として入院患者 5〜10 名を受け持ち、一般外科的基礎研修に重点をおき、二年次でローテートした場合は、上級医の指導下に患者 10 名前後を担当し、脳神経外科的診断技術、治療技術を研修し開頭術程度までの基本手技を習得し、より高度な手術の助手を行う。

整形外科

入院患者を通じて、一般整形外科・災害外科の基礎を修得する。主な研修内容は各種診断技術、整形外科的、保存的および観血的治療、義肢装具に関する基礎、リハビリテーション等である。脊椎・脊髄、人工関節等の大手術も助手として経験する。

（３）小児科

小児科病棟および新生児科病棟において、指導医とともに受持医として入院患児の診療にあたる。この間、患児の病歴作成、基本的な診察法、診断技術ならびに治療技術の習得を目標とする。また、救急外来において小児科の初診医を担当し発熱、呼吸困難、脱水、痙攣などの小児救急疾患のプライマリーケアを経験する。

（４）産婦人科

外来で初診、妊娠健診、婦人科疾患の診療を修得。入院では分娩経過観察、分娩介助、創部縫合、また婦人科手術患者の診察、手術助手、さらに救急患者への対処について修得する。

（５）神経精神科

総合病院精神科として、また単科精神病院としての機能を併せ持つ。各疾病圏ごとの症例豊富。身体的診療の基礎の修得、デイ・ケア、作業療法施設、老人性痴呆疾患センター、地域医療経験の機会あり。初期研修修了後は、精神科常勤医として勤務し、卒後 5 年間で精神保健指定医取得が十分可能である。

（６）救急外来研修

救急外来研修は、初年度 6 月より、当直見習い（月 2 回）2 ヶ月、副当直（月 3 回）8 ヶ月を経て、2 年次には当直医として月 5 回の当直を行い、1 次から 3 次までの救急患者の初期診療を研修する。指導体制は、上級医、指導医、集中治療・救急部スタッフ（特に 3 次救急症例）とともに診療を行う。特に、当直見習い、副当直期間は、上級医のカウンターサインなしに診療を完了することが許されていない。また、コンサルテーションが必要なときは、各科専門医とともに診療を行う。他、2 年次に各科ローテート中は、週 2 回程度の救急外来の日直を行う。各科ローテート中は、当該科のコンサルトチームのファーストコール医（コンサルトを最初に受ける役目）としても指導医のもとで初期治療、救急処置を習得する。継続した多数回に上る救急外来での研修で、内容としては数ヶ月分にも相当する経験をすることができる。また、救急外来研修とは別に、救急救命科をローテートする際は、多発外傷、熱傷、内科 3 次救急症例を主に研修する。救急科研修は 8 週分は救急科で実施し、残り 4 週は 2 年間の当直で実施する。

（７）　地域医療

近隣の自治体病院での内科病棟研修をする。また、その他の科をローテート中も地域に根ざした診療を研修し、幅広い経験を積む。

（８）選択科

必修科目以外の研修期間は、選択科（内科、一般外科、脳神経外科、整形外科、小児科、産婦人科、神経精神科、救急部、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、心臓外科、リハビリテーション科、形成外科、泌尿器科、臨床病理科、感染症科）を研修医の希望に応じて自由に選択してローテートすることができる。研修医の希望に応じて志望科を長くローテートするなど柔軟性のあるプログラムにもなっている。

（９）一般外来研修

地域医療、小児科、総合診療内科研修時に合計 4 週以上となるよう並行研修をする。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号：030165	臨床研修病院の名称：総合病院国保旭中央病院
	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名：

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号　030165015

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週				5～8週				9～12週				11～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
凡例　○×病院（○×○×○×）	内科	5																																																			
凡例　▲■病院（▲■▲■▲■）	外科			3																																																	
凡例　△□病院（△□△□△□）	外科										3																																									
総合病院国保旭中央病院（030165）	内科	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17
総合病院国保旭中央病院（030165）	外科	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
総合病院国保旭中央病院（030165）	救急													7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。
＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号：030165	臨床研修病院の名称：総合病院国保旭中央病院
	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名：

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週				5～8週				9～12週				11～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
総合病院国保旭中央病院（030165）	精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
総合病院国保旭中央病院（030165）	地域医療	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3
総合病院国保旭中央病院（030165）	産婦人科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
総合病院国保旭中央病院（030165）	小児科	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
総合病院国保旭中央病院（030165）	選択科	5	5	5	5	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	13	13	13	13	13	13	13	13
総合病院国保旭中央病院（030165）	麻酔科	6	6	6	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
総合病院国保旭中央病院（030165）	内科	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6																								

| | | |